

仙台で住宅リフォーム時に発生する 設備機器廃材の再資源化事業を推進

ＬＩＸＩＬ

同社が運営する「ＬＩＸＩＬエ
コセンター仙台」(宮城県仙台市)
が、産業廃棄物収集運搬業許可と
産業廃棄物処分業許可を仙台市か
ら取得した。

このセンターは、住宅リフォー
ム工事に伴う廃材を収集・運搬し、
処分を行う施設。今年1月21日か
ら住宅リフォームで発生する他社
製品も含めた使用済み住宅設備機
器類の収集を開始し、廃材リサイ
クル事業をスタートした。

モノづくりの視点として重要な
「つくろ」「つかう」「もどす」の
中の資源を再生・再利用する「も
どす」の役割を担っていく。手分
解による徹底した分解・分別によ
り、分別品種50種類以上、リサイ
クル率90%以上を目指し、資源の
再利用、循環を推進する。

同センターは、愛知県常滑市、
茨城県つくば市に続く3カ所目の
エコセンターとなる。
キッチンや浴室、洗面台、トイレ

レなどの水まわり設備機器に加え、
アルミサッシ、玄関ドア、エクス
テリア商材など全ての使用済み住
宅建材の収集・リサイクルを行う。



セキユリティゲート無償譲渡 キャンペーンを実施

日本カバ

東京シヨールームのリニューアル
を記念し、展示製品の一部を無
料提供するキャンペーンを行って
いる。

審査後、輸送、設置費の負担、
保守契約の締結などの条件に同意
の上、製品そのものを無料で提供
する。

同社はロッキングシステムやア
クセス・マネジメント、ドアシス
テムなど幅広いセキユリティ製品
を展開している。特にドイツで開
発されたセキユリティゲート「K
a b aセキユリティゲート」は、

堅牢性とセキユリティ機能に優れ
るだけでなく、高いデザイン性を
兼ね備え、セキユリティゲートと
して優秀でありながら、美しい外
観と省スペースを実現している。

「ジャパンショップ2013」 に出展、商空間のトータル インテリアを提案

サンゲツ

3月5日から8日の間、東京ヒ
ツグサイトで開催される店舗総合
見本市「ジャパンショップ201
3」に出展した。商空間を個性的
で魅力あるものに演出するインテ
リア商材と内装計画のアイデア
を提示した。

情報通信の高度化に加え、消費
者のニーズの多様化が進むなか、

商空間を彩るアイテムには豊かな
創造性と高付加価値が求められる。
そこで、今回は人を魅了するよう
なトリックアートの回廊をイメー
ジした印象的なブースをつくった。

さらに、メンテナンス性や防汚性
に優れ、環境にもやさしい商品を
数多く展示。新たな試みとして、
iPadを使用した床材提案も行
った。

床材では製品寿命を通じてワッ
クスが不要な「グラニット」に加
え、フロアタイルやカーベット
タイルなどの異素材による空間演
出も行った。また、壁装材では天
然木や金属などモチーフとなる素
材の質感をリアルに表現する「リ
アテック」を展示した。

省CO₂の家づくりプロジェクトが カーボン・オフセット大賞優秀賞 を受賞

デコス

「近くの山でつくる、省CO₂
で心地よい木の家プロジェクト」
が第2回カーボン・オフセット大
賞優秀賞を受賞した。住宅用断熱
材デコスファイバーのライフサイ
クルCO₂を実質ゼロにする取り

組みが高く評価された。

同社の親会社である安成工務店
の取引先で、林業を営むトライ・
ウッド(大分県田田市)から温室
効果ガスの排出権を購入。デコス
ファイバーのライフサイクルCO₂
排出量を相殺する仕組みだ。トラ
イ・ウッドは、間伐推進運動で創
出される温室効果ガスの削減量を
クレジット化して販売している。

さらにこのプロジェクトには、安
成工務店グループのエコビルド
(フレカット)も参加。家づくり
の川上から川下まで、顧客も含め
た顔の見える関係を構築している。

安成工務店グループの安成信次
社長(写真)は、「安成工務店グル
ープでは25年前から環境共生の住
宅づくりに取り組んでいる。今回
の受賞で、その取り組みの一部の
有効性が証明されたことになる。
受賞を機に、日本の気候風土に適
した自然素材の断熱材をさらに広
めていきたい」と話す。

